

ワークショップの概要

※ワークショップのオンライン配信はございません。

WS① 一人一台端末を活かした授業・活動のデザイン (タブレット初級)

●明治学院大学准教授 根本淳子●

導入された1人1台の端末は、生徒と教師の学びの支援ツールです。本ワークショップでは、授業や学校での活動にどのように端末活用できるかを議論していきます。端末をまだ十分に活用できていないと思われる方も、今後少しずつ、負荷なく導入をできる方法について一緒に探していきます。

WS③ 学級における「個別最適化」の取組みと工夫 (タブレット上級)

●明星大学准教授 今野貴之●

個別最適化の考え方には2つあります。ひとつは、学習内容・学習レベルの最適化をおこなうチュートリアル型学習のような「アダプティブ・ラーニング (適応学習)」です。もうひとつは個々の学習者の興味・関心に応じた学習機会の提供・支援の「パーソナライズド・ラーニング」です。これらの2つの観点からご自身の勤務校における一人一台端末の使い方を検討していきます。

WS② 中級者だからこそできる協働学習 (タブレット中級)

●聖心女子大学非常勤講師 榎本竜二●

授業にタブレットをためらいなく使わせる選択が出来る中級者の先生方にこそ、タブレットは協働学習に使って欲しい。協働学習は、なんとなくグループで話し合わせて、結果をタブレットに入力すればよいわけではありません。端末の有無にかかわらず必要なノウハウと、一人一台時代の活用方法を学んでいきます。

WS④ NHK for School を活用した 授業と家庭学習のデザイン

●NHK 放送研究所主任研究員 宇治橋祐之●

小中学校の学年・教科に対応した90シリーズ、2000本に及ぶ番組、そして知識定着や調べ学習をサポートする7000本の動画クリップ。全国の教育現場で利用されているNHK for Schoolを、一人一台端末を活用して、授業と家庭学習でどう連携させてデザインすればよいのか。全国のさまざまな事例もみながら考えていく。

一般参加者の皆様へ

※一般募集はせず、講演のオンライン配信のみとなります。

今年度のIMETSフォーラム2021は、コロナウイルス感染症拡大防止のために規模を縮小して開催いたします。当日の様子は、9月中旬に「IMETS Web」上で公開予定でございます。(講演のみの配信です) 一般参加者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

先生の学び
応援サイト
- IMETS Web -

先生の学び応援サイト～IMETS Web～とは？

『多忙で学ぶことが多い、すべての先生方の継続的な学びを応援したい。』こんな想いから誕生しました。豊富で良質な動画コンテンツや資料、教育情報などを揃え、新動画も随時配信中です！

刻一刻と変化する教育現場や、さらなる新しい学び、継続的な学びを必要とする先生方に学びの支援をしていくためのプラットフォームにしていくことを目指します。

お気軽にアクセスください！

<https://www.sainou.or.jp/senseimanabi/index.html>



IMETS Web



お問い合わせ先

公益財団法人 才能開発教育研究財団

教育工学研究協議会 IMETS フォーラム事務局

〒146-0083

東京都大田区千鳥3-25-5千鳥町ビル

HP: <https://www.sainou.or.jp/forum2021/>

E-mail: forum@sainou.or.jp

IMETS フォーラム 2021

第 47 回 教育工学研修中央セミナー

研修テーマ

主催：公益財団法人 才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会 / 共催：一般社団法人 日本教育情報化振興会(JAPET & CEC)
後援：文部科学省、東京都教育委員会

新しい学習環境において個々の資質・能力を育む一人一台端末の活用

日時 8月24日(火) 9:30~

会場 池上会館

住所 〒146-0082
東京都大田区池上 1-32-8

アクセス

- ・バス：最寄り駅「本門寺前」(池上方面行き) 徒歩 5 分
- ・電車：最寄り駅「池上駅」(東急池上線) 徒歩 11 分



吉崎 静夫先生



森田 充先生



高橋 良祐先生



中川 一史先生



稲垣 忠先生



岸 磨貴子先生



根本 淳子先生



榎本 竜二先生



宇治橋 祐之先生



今野 貴之先生

※一般参加者の皆様には後日、オンラインで配信予定です。(講演のみ IMETS Web 上で配信いたします)

講演の概要

基調講演 一人一台端末を活用した授業のデザインと子どもの学び

●日本女子大学名誉教授 吉崎静夫●

一人一台端末と少人数学級の整備によって、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進が期待されている。そのためには、授業のどの場面で、どのような学習形態で、どのように情報端末を活用するのかといった授業デザインがますます大切になる。本講演では、小中学校の実践事例をふまえながら、授業デザインのポイントを解説する。

対談 新時代の学びを支えるシームレス教育の実現

●つくば市教育長 森田 充 ●元港区教育長 高橋良祐●

つくば市は、一貫して個に応じた指導、協働学習の実現を目指し、教科やつくば独自のつくばスタイル科において、身に付けたい力(次世代型スキル)を明確にして ICT を活用してきた。今後も、この理念の下、子供が疑問や興味に応じて、ICT を活用して、時間も場所も選ばずに学び、友達や専門家などと交流し、学びをより深めていくシームレス教育の実現を目指していく。

講演 1人1台環境における情報活用能力の育成

●東北学院大学教授 稲垣忠●

新学習指導要領において「学習の基盤となる資質・能力」の1つに情報活用能力が位置付けられた。GIGA スクール構想によって整備された1人1台、1人1アカウントの学習環境は、児童・生徒が情報活用能力を身につけ、活用することでその真価を発揮する。情報活用能力を教科横断的に育成するための授業設計およびカリキュラムマネジメントの考え方について解説する。

講演 GIGA スクール構想で実現する7つの「脱」

●放送大学教授 中川一史●

GIGA スクール構想により1人1台端末環境が整備されたことで、子どもの学びはどのように変わっていくのだろうか、また授業・教師・学校はどのように変わっていかないとはいえないのだろうか。本講演では、そのキーになる7つの「脱」を取り上げ、具体的なエピソードや事例をもとに、解説していく。

講演 「ちょうどいい」ICT と学習環境デザイン

●明治大学准教授 岸磨貴子●

本講義では、教師と児童生徒にとって「ちょうどいい」ICT 活用について、国内外の教育実践事例から考えていきます。「ちょうどいい」というのは、教師も児童生徒も主体性を保ちながら生き生きと生きる/学ぶ状態です。多様な個々の強みや才能を引き出し、発揮できる ICT 活用と学習環境デザインについて会話を始めましょう。